

『広島県病院事業経営計画（平成21年度～25年度）』の取組状況  
に係る広島県病院経営外部評価委員会の評価報告書  
【平成23年度の評価】

平成24年12月11日  
広島県病院経営外部評価委員会  
委員長 谷田 一久

1 広島県病院経営外部評価委員会

広島県病院経営外部評価委員会は、「広島県病院事業経営計画（以下「経営計画」という。）」の取組状況に係る点検・評価等を行う外部組織として平成22年5月に設置され、今年度は3年目になります。本委員会は行政、医学教育、公立病院経営等に精通した各分野の専門家を委員として構成され、公正に、しかも専門的な観点から広島県病院事業を評価しようとするものです。

平成23年度の経営計画の取組状況について、今年度は2回（8月、11月）にかけて議論し、次のとおり取りまとめましたので、ここに報告いたします。

2 評価結果の総括

「経営計画」の3年目にあたる平成23年度は、計画達成に向けた様々な取組が、昨年度より更に具体的に、かつ、着実に進められていると認められ、広島県病院事業全体としての計画実施状況は概ね順調に推移したものと評価しました。特に広島病院において、救急や周産期医療といった政策医療分野に関わる計画が着実に達成されつつある点は高い評価に値するものでした。また、10億円を上回る経常黒字を計上した点についても、自治体病院として公共性と経済性をしっかり両立させていることとして高く評価しました。

広島病院については、これまでの高度医療に対する取組が、ここ数年診療報酬上高く評価される状況にあり、収益の増加にも大きく影響していることが窺えます。今後は、広島県全体の医療を視野に入れた行動を期待するところです。

安芸津病院については、非都市部における医療提供モデルの構築に向けての模索が行われている点を高く評価しました。ただし、収支面については、計画との乖離を小さくすべく改善がなされることを期待します。

収支については、2年連続の黒字が達成されたことを高く評価します。これは、経営計画を実行する主体である職員個々の意識の高さの表れであると評価します。今後も、二つの県立病院が連携しあいながら、常に県全体の医療の最適化を実現すべく着実に計画が遂行されることを期待します。

3 評価結果

(1) 評価基準と評価方法

経営計画に基づき平成23年度に取り組んだ事項について、次の基準により評価を行いました。

評価基準		評価の考え方
評価	区分	
◎	計画どおり概ね順調である。	計画の達成に向けた、具体的成果がある。又は目標を達成した。
○	ほぼ順調である。	計画に対して具体的に取組んでおり、一定の成果が認められる。
△	やや遅れている。	計画に対する取組はあるものの、まだ成果に現れていない。取組が不十分。
×	かなり遅れている。	計画に対して取組が行われているとは言えない。消極的。

(2) 各病院の評価結果

①- 1 県立広島病院の評価

経営計画に係る取組状況については、平成 23 年度は 12 項目に取組んでいます。

そのうち、『◎(計画どおり概ね順調である。)]と評価した項目は 10 項目で昨年度より 5 項目増加し、『○(ほぼ順調である。)]と評価した項目は 2 項目となりました。

救急や周産期医療などの政策医療機能では、引き続き高水準の医療を広域的に提供していると認められます。また、臨床評価指標 2010 の作成・公表や患者とその家族向けの冊子の作成、地域の医療従事者への研修実施など、県民に対する医療情報の提供や医療従事者の育成にも積極的に取り組んでいることが窺われます。これらの取組が基盤となり、目標指標 10 項目のうち 8 項目が達成され、前年度を大幅に上回る 10 億円の経常収支黒字を計上できたものと理解します。

今後は、広島県が「がん対策日本一」を目指す中でのがん診療連携拠点病院の連携における主導的な役割や、全県下を見据えた認定看護師の養成など、リーディングホスピタルとしての更なる取組に期待します。

なお、取組方針ごとの委員会評価意見は別紙「評価表」に記載のとおりです。

①- 2 評価結果の内訳

A 評価ごとの項目数

評価区分	H23 ( )はH22
評価結果『◎』とした項目	10 項目 (5)
評価結果『○』とした項目	2 項目 (7)
評価結果『△』とした項目	0 項目 (0)
評価結果『×』とした項目	0 項目 (0)
合計	12 項目

イ取組方針ごとの評価

番号	取組方針	自己 評価	委員会評価 ○はH22	
<b>1 政策医療機能</b>				
1	救急機能の強化	◎	◎(◎)	
2	周産期医療提供体制の強化	◎	◎(◎)	
3	がん診療機能の強化	○	◎(○)	
<b>2 医療人材の育成・派遣機能</b>				
4	人材の確保・教育・派遣	○	◎(○)	
5	医療の安全と質の向上	◎	◎(○)	
<b>3 患者サービスの向上と経営の効率化</b>				
6	患者サービスの向上	◎	◎(○)	
7	経営の 効率化	増収対策	◎	◎(◎)
8		費用合理化対策	◎	◎(◎)
9		経営機能の強化	◎	◎(○)
<b>4 連携強化</b>				
10	地域連携状況等	◎	◎(○)	
11	(2 病院) 協力状況	◎	◎(○)	
<b>5 決算、目標指標</b>				
12	収支改善、目標指標	◎	◎(◎)	

総合評価		◎(○)
------	--	------

②-1 県立安芸津病院の評価

経営計画に係る取組状況については、平成 23 年度は 10 項目に取組んでいます。

そのうち、『◎（計画どおり概ね順調である。）』と評価した項目は 1 項目、『○（ほぼ順調である。）』と評価した項目は 8 項目、『△（やや遅れている。）』と評価した項目が 1 項目となりました。

病院単体としては、患者数や病床利用率が減少し、資金収支も 233 百万円の赤字となったことについて、具体的な改善策が講じられることを期待します。現在進められている広島病院との人的・物的・知的連携の取組を高く評価しましたが、それらの取組が実を結び、結果として収支改善となることを大いに期待します。

今後は、再定義した基本理念である「地域が一体となった医療提供体制の構築」という方向性の中で、具体的な課題にどう取り組み、地域特性を反映した成果を出しているかという点が、問われるものと考えます。地域の医療ニーズの分析等を通して、安芸津病院が県立病院として進むべき方向性と具体的な方策を定め、組織が一体となって課題の解決に取り組んでいくことを期待します。

なお、取組方針ごとの委員会評価意見は別紙「評価表」に記載のとおりです。

②-2 評価結果の内訳  
ア 評価ごとの項目数

評価区分	H23 ( )はH22
評価結果『◎』とした項目	1 項目 (2)
評価結果『○』とした項目	8 項目 (8)
評価結果『△』とした項目	1 項目 (0)
評価結果『×』とした項目	0 項目 (0)
合計	10 項目

イ 取組方針ごとの評価

番号	取組方針	自己 評価	委員会評価 ( )はH22	
<b>1 政策医療機能</b>				
1	安芸津病院の機能検討	○	◎(○)	
2	政策医療の実施	○	◎(○)	
<b>2 医療人材の育成・派遣機能</b>				
3	人材の確保・教育・派遣	○	◎(○)	
4	医療の安全と質の向上	○	◎(○)	
<b>3 患者サービスの向上と経営の効率化</b>				
5	患者サービスの向上	◎	◎(◎)	
6	経営の 効率化	増収対策	△	◎(◎)
7		費用合理化対策	◎	◎(○)
8		経営機能の強化	○	◎(○)
<b>4 連携強化</b>				
9	(2 病院) 協力状況	○	◎(○)	
<b>5 決算、目標指標</b>				
10	収支改善、目標指標	△	△(○)	
総合評価			◎(○)	

## 広島県病院経営外部評価委員会 委員一覧

(敬称略)

区分	氏名	備考(職名等)
委員長	谷田 一久 (※)	(株) ホスピタルマネジメント研究所 代表取締役
副委員長	河野 修興 (※)	広島大学大学院医歯薬保健学研究院教授
委員	塩谷 泰一	高松市病院事業管理者
委員	檜谷 義美	(社) 広島県医師会副会長
委員	平谷 優子	(財) 広島県女性会議理事 (弁護士)
委員	和田 頼知	有限責任監査法人トーマツ パートナー (公認会計士)

区分	氏名	備考(職名等)
オブザーバー	大濱 紘三 (※)	広島県病院事業管理者

※ 経営計画策定時の委員

## 広島県病院経営外部評価委員会 平成 24 年度議事一覧

○第 1 回 [平成 24 年 8 月 2 日 (木) 於: 広島県庁]

- (1) 外部評価委員会の進め方について
- (2) 経営計画の取組状況 (平成 23 年度) について
- (3) 課題・必要な取組の意見・提言等について

○第 2 回 [平成 24 年 11 月 12 日 (月) 於: 広島県庁]

- (1) 経営計画の取組状況 (平成 23 年度) の評価取りまとめについて
- (2) 平成 24 年度上半期の計画達成状況と平成 25 年度の取組の方向性について
- (3) 課題・必要な取組の提言等について